

2020 年度日本語教育学会春季大会 予稿集販売について（2020 年 5 月 1 日）

公益社団法人日本語教育学会

2020 年 5 月 30 日・31 日に一橋大学での開催を予定していた 2020 年度春季大会は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、開催を中止いたしました。

[2020 年春季大会の開催中止について（お知らせ）](#)〔2020 年 4 月 7 日公開〕

開催中止に伴い、大会では、予定されていた発表は、予稿集（電子版）への収録および購入をもって発表成立とみなし、今大会での公表実績として認定いたします。当該対象となる発表は本状 5 ページ以降の発表一覧をご覧ください。

◆予稿集について

電子版のみの発行となります。ご購入が完了すると「予稿集（電子版）」のダウンロードが可能となります。

◆予稿集の購入について（2020 年 5 月 7 日（木）9:00 開始）

学会ウェブサイト上の「[マイページ](#)」からのご購入が可能です。お支払いは、コンビニ決済・ペイジー決済・クレジット決済のいずれかとなります。会員の方は、本状 2 ページ (2) の期間中のご購入は予稿集代金が割引となります。なお、一般の方が入会される場合、入会完了までに数日を要します。上記の割引となるのは、入会手続き完了後となりますので、余裕をもって手続きをお進めください。

購入方法は、各種催しの事前参加登録と同様です。「[マイページ操作申込マニュアル—大会申込編](#)」をご参照のうえ、同マニュアル 3 ページ (2) において、「【予稿集】2020 年度日本語教育学会春季大会」をお選びください。

(1) 購入前のご準備

【会員の方】

事前にマイページにログインし、2020 年度年会費の納入をお済ませください。

※初めてログインされる方は、本状 5 ページの【[マイページログインまでの手続き](#)（会員向けのご案内）】をご確認ください。

※年度会費の自動引落にご登録済みの方は、5 月 11 日（月）以降のご購入をお願いします。5 月 10 日以前に購入された場合、2020 年度の自動引落の結果がシステム上に反映されておりませんので、割引価格となりません。ご自身が自動引落にご登録されているかどうかご不明な場合は、下記の手順にてマイページでご確認いただくことが可能です。

<確認手順>

- ① [マイページ](#)にログイン後、ホーム画面にある左のメニューから「ユーザー管理・学会誌ダウンロード」をクリックし、「ユーザー情報」を選択します。
- ② 「ユーザー情報変更」に移動したら、最下部から2列目の「納入履歴」の欄があります。自動引落をご登録されている場合、こちらに「自動引落」と記載があります。

※学生料金でご購入を希望の方は、5月8日（金）までに学生証を会員サービス係までご提出ください（提出先は4ページの「問合せ先」をご参照ください）。その後、会員サービス係からの受領連絡が届いてから、予稿集購入の手続きに進んでください。

【会員でない方】

① ご入会のうえ購入をご希望の方

事前にマイページで新規ユーザー登録をお願いいたします。入会申込後、2営業日後に入会に関する審査結果を通知しますので、それを受け、入会金および2020年度年会費の納入をお済ませください。

②ご入会を希望されない方で、マイページをお持ちの方

特に事前のご準備は必要ありません。入会金・年度会費等のお支払いも必要ありません。

③ご入会を希望されない方で、マイページをお持ちでない方

事前にマイページで新規ユーザー登録をお願いいたします。ご利用の開始の通知までに24時間を要しますので、余裕をもって登録手続きをお進めください。

(2) 購入期間

会員割引の適用：2020年5月7日(木) 9:00～5月31日(日) 23:59 (日本時間)

一般価格での販売：2020年6月1日(月) 9:00～2023年3月31日(金) 23:59 (同上)

※発行後2年度を経過したものは、無料にて閲覧可能となります（詳細は[こちら](#)）。

※発表者の方々は、別途定める期日までにご購入をお願いいたします。

◆予稿集代金について

	会員の方	会員の方 (学生証事前提出あり)	会員でない方
2020年5月7日(木) ～ 2020年5月31日(日)	3,500円	2,000円	5,000円
2020年6月1日(月) ～ 2021年3月31日(水)	5,000円	5,000円	5,000円
2021年4月1日(木) ～ 2022年3月31日(木)	4,000円	4,000円	4,000円
2022年4月1日(金) ～ 2023年3月31日(金)	4,000円	4,000円	4,000円

※予稿集購入の支払時に別途**手数料**がかかります。

※会員の方でも、今年度会費の支払いが完了していない場合や、学生割引をご希望で事前に「学生証」が未提出の場合には、割引にはなりません。

※各期日までにお支払い（コンビニ決済・ペイジー決済・クレジット決済）が完了された場合に、上記の価格が適用されます。お支払いが完了していない場合には、適

用されません。

※お支払い後のキャンセルはできませんので、ご注意ください。

◆予稿集（電子版）の利用に関する注意事項

学会刊行物（『日本語教育』、日本語教育学会大会・支部集会の予稿集原稿等）について、発行後 2 年を経過した刊行物については、一定の条件下で機関リポジトリでの公開を認めております。各種条件や申請手続きは、[こちら](#)をご参照ください。

◆購入後のダウンロードの仕方※

マイページのホーム画面より下記の手順で進んでください。

「メニュー」

→「イベント情報」

→「[イベント申込状況照会](#)」

→【大会参加登録】の行にある **申込完了**（登録期間終了後は **切**）

→ **照会**

→ **大会予稿ダウンロード**

→ダウンロード用 URL の表示・閲覧

※1 詳しい操作方法については、マイページにログイン後、「メニュー」→「マニュアル」に進んでいただき、「[マイページ操作申込マニュアル—大会申込編](#)」をご参照ください。

◆問合せ先：

E-mail：大会担当 taikai-office@nkg.or.jp（大会予稿集の購入・利用に関する事項）

会員サービス担当 kaiin@nkg.or.jp（入会・年会費支払いに関する事項）

～マイページログインまでの手続き（会員向けのご案内）～

現在のマイページご利用の状況により、いずれかの手続きをお願いいたします。

(1) ログイン ID の発行を受けていない方（マイページ利用の移行手続きが未完了の方）

以下のご案内をご参照のうえ、必要事項を会員サービス係までお届けください。その後、会員サービス係からログイン ID および仮パスワードをお知らせいたします。

<http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2017/08/datateikyo.pdf>

(2) ログイン ID は発行されているが、パスワードの設定をしていない方

「[マイページ操作マニュアル—スタートアップガイド—](#)」の 5 ページ以降をご参照のうえ、メールアドレスの設定後、パスワードの設定をお願いいたします。

(3) パスワードを設定しマイページへのログインが完了しているが、年会費が未納入の方

マイページにログインのうえ、「[マイページ操作マニュアル—会費納入編—](#)」をご参照いただき、年会費の納入をお済ませください。

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。
★印は、今大会のテーマ「日本語教育学の輪郭を描く」に関連した発表です。

パネルセッション

第1部 [14:00 ~ 15:30 (90分)]

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
<p>①</p> <p>当該発表は、未発表扱いとなりました。</p>	<p>②…p.11</p> <p>中堅日本語教師研修の内容と方法</p> <p>小河原義朗 (東北大学) 黒崎誠 (ラボ日本語教育研究所) 金孝卿 (早稲田大学) 義永美央子 (大阪大学)</p>	<p>③★…p.21</p> <p>日本・韓国・欧州の外国人受入れにおける言語・社会的側面の現代的課題</p> <p>助川泰彦 (東京国際大学) 吹原豊 (福岡女子大学) 磯野英治 (名古屋商科大学) 松崎真日 (福岡大学) 的場主真 (ヴィッテンヘルデッケ大学)</p>	<p>④</p> <p>当該発表は、未発表扱いとなりました。</p>

第2部 [15:45 ~ 17:15 (90分)]

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
<p>⑤★…p.31</p> <p>21世紀の日本語教育学を考える一視点としての「学」という観点から</p> <p>宇佐美まゆみ (国立国語研究所) 伊東祐郎 (国際教養大学) 山本忠行 (創価大学) 林さと子 (元津田塾大学)</p>	<p>⑥</p> <p>当該発表は、未発表扱いとなりました。</p>	<p>⑦★…p.38</p> <p>教師教育の課題と可能性—外国人児童生徒等教育を担う教員の養成と研修に焦点を当てて—</p> <p>金田智子 (学習院大学) 菅原雅枝 (愛知教育大学) 仲本康一郎 (山梨大学) 鎌田美千子 (宇都宮大学)</p>	<p>⑧★…p.48</p> <p>日本語教育におけるプログラム評価の意義</p> <p>小澤伊久美 (国際基督教大学) 丸山千歌 (立教大学) 札野寛子 (国際高等専門学校) 長尾眞文 (国際開発センター) 久慈恵子 (カナダ・オンタリオ教育省)</p>

口頭発表 午前の部 [9:30 ~ 12:00 (各 30 分)]

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

★印は、今大会のテーマ「日本語教育学の輪郭を描く」に関連した発表です。

第1会場

第2会場

9:30 ~ 10:00	<p>①★…p.59 留学生との交流活動を通じた地域住民の変容—日本語学校の地域社会における存在意義—</p> <p>嶋田和子 (アクラス日本語教育研究所) 高見彩子 (イーストウエスト日本語学校) 田坂敦子 (同), 森節子 (同)</p>	<p>⑤…p.76 英語母語児童に対する入り込み指導における日本語支援員の言語選択</p> <p>新谷遥 (京都外国語大学)</p>
10:10 ~ 10:40	<p>②★ 当該発表は、辞退となりました。</p>	<p>⑥…p.82 複言語複文化環境で育つ子どもの学びにつなげる支援に関する—考察—Audibilityと正統性に着目して—</p> <p>米澤千昌 (大阪大学大学院生)</p>
10:50 ~ 11:20	<p>③…p.65 日本語ティーチングアシスタントの自己効力感尺度作成の試み—タイ派遣日本語パートナーズを対象に—</p> <p>古別府ひづる (山口県立大学) 大田祥江 (国際交流基金) 山下順子 (広島大学大学院生)</p>	<p>⑦…p.88 米国の大学における日本語学習者の動機付けと文化的興味に関連性</p> <p>大住あかり (東京国際大学)</p>
11:30 ~ 12:00	<p>④…p.71 日本語教師養成講座における通信課程と通学課程受講生の知識差—eラーニング学習に向いている理論科目の存在の可能性—</p> <p>徳田淳子 (東京中央日本語学院) 秋田美帆 (関西学院大学)</p>	<p>⑧…p.94 ビジュアル・ナラティブによる留学生の日本語学習ビリーフの研究</p> <p>水戸貴久 (別府溝部学園短期大学)</p>

口頭発表 午前の部 [9:30 ~ 12:00 (各 30 分)]

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

★印は、今大会のテーマ「日本語教育学の輪郭を描く」に関連した発表です。

第3会場

第4会場

9:30 ~ 10:00	<p>⑨★…p.100 理系外国人材採用を進める企業において日本人社員が外国人社員に求める日本語力—外国人社員との接触経験に焦点を当てて— 浅海一郎 (内定ブリッジ) 中川健司 (横浜国立大学) 鈴木綾乃 (横浜市立大学) 徳田淳子 (東京中央日本語学院)</p>	<p>⑬ 当該発表は、未発表扱いとなりました。</p>
10:10 ~ 10:40	<p>⑩★…p.106 中国の大学生による日本語の絵本作成と展覧会開催の実践報告—学生と社会がつながる新たなプラットフォームの試行— 櫛佳世 (元・天津師範大学)</p>	<p>⑭ 当該発表は、発表者の都合により辞退となりました。</p>
10:50 ~ 11:20	<p>⑪★…p.112 ケース学習におけるファシリテーション力とは—授業における教師の発話に注目して— 多田苗美 (麗澤大学大学院生)</p>	<p>⑮…p.124 絵描写タスクを利用した文法授業のインターアクション分析—上級クラスにおけるグループワークの実践報告— 武井真美 (東北大学大学院生)</p>
11:30 ~ 12:00	<p>⑫…p.118 教室活動におけるナラティブ学習の可能性—中国の日本語専攻者のキャリア創出を例として— 黄均鈞 (華中科技大学) 欧麗賢 (広州大学)</p>	<p>⑯…p.130 技能実習生と日本語母語話者の協働現場におけるコミュニケーションの比較分析—技能実習生の入れ替わりとリーダーの役割に着目して— 飯田朋子 (筑波大学大学院生)</p>

口頭発表 午後の部 [13:30 ~ 16:00 (各 30 分)]

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

★印は、今大会のテーマ「日本語教育学の輪郭を描く」に関連した発表です。

第 1 会場

第 2 会場

13:30 ~ 14:00	<p>⑰★…p.137 書き言葉における「のだ」の産出を目指して—意見文に見られる「のだ」の例から— 高恩淑 (獨協大学)</p>	<p>⑳…p.161 初級日本語学習者のライティングにおける読み手意識 山岸愛美 (東京国際大学) 秋田美帆 (関西学院大学)</p>
14:10 ~ 14:40	<p>⑱…p.143 中国語を母語とする上級日本語学習者の受身文の使用—日本語母語話者との比較を通して— 何月琦 (名古屋大学大学院生)</p>	<p>㉑…p.167 母語と第二言語としての日本語による自己評価の比較—アカデミックジャパニーズとビジネスジャパニーズに関する Can-do statements 調査報告— 伊藤奈津美 (早稲田大学) 吉田暁 (城西大学) 若下智彦 (早稲田大学) 沖本与子 (同) 鈴木綾乃 (横浜市立大学)</p>
14:50 ~ 15:20	<p>⑲…p.149 「書く」と「話す」課題の違いから見たテシマウ習得過程の中間言語の変異性—縦断的なデータを用いて— 簡卉雯 (国立台湾海洋大学)</p>	<p>㉒…p.173 CEFR の日本語への適用可能性—産出的言語活動および(言葉の) やりとりの場合— 野口裕之 (名古屋大学名誉教授) 大隅敦子 (国際交流基金) 熊谷龍一 (東北大学) 島田めぐみ (日本大学)</p>
15:30 ~ 16:00	<p>㉓…p.155 中国語母語話者の日本語による依頼の補助ストラテジー—学習環境やレベル差に着目して— 細井陽子 (山野日本語学校) 迫田久美子 (広島大学)</p>	<p>㉔…p.179 学習者らは日本語「ポートフォリオ」の経験をどう捉えたか—「ポートフォリオ」に対する学習者の意識と評価— 今井なをみ (早稲田大学)</p>

口頭発表 午後の部 [13:30 ~ 16:00 (各 30 分)]

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

★印は、今大会のテーマ「日本語教育学の輪郭を描く」に関連した発表です。

第3会場

第4会場

13:30 ~ 14:00
 ②⑤…p.184
**中国人ビジネスパーソンの日
 本語メールでの「断り」**
 宗甜甜 (日本大学大学院生)

②⑨★…p.207
**アメリカの日本語教育の源流
 を探る—太平洋戦争中のカリ
 キュラムとそれを支えた教育者
 たち—**
 村田道明 (法政大学)

14:10 ~ 14:40
 ②⑥…p.189
**グループホームにおける早番
 の業務と介助の談話の分析
 —ミャンマー人介護職員を対象
 に—**
 大場美和子 (昭和女子大学)

③⑩★…p.213
**システムとしての近代日本語
 教育—マクロ的視点とミクロ的
 視点—**
 泉史生 (元・文藻外語大学)

14:50 ~ 15:20
 ②⑦…p.195
**介護用語の平易化のために
 —医学会の用語整理・統一運動
 から学ぶこと—**
 遠藤織枝 (元文教大学)

③①★…p.219
**日本語能力は社会参加の資
 格なのか—在日パキスタン人言
 語調査の分析から—**
 福永由佳 (国立国語研究所)

15:30 ~ 16:00
 ②⑧★…p.201
**介護福祉士国家試験で誤答
 を誘発する問題文とその読み
 誤り—インドネシア人 EPA 候補
 者に対する調査から—**
 神村初美 (ハノイ工業大学)
 野田尚史 (国立国語研究所)

③②…p.225
**日本語学習者の移動性から
 みる「学習と人生のつながり
 の軸」の形成**
 山内薫 (立教大学)

ポスター発表 第1部 [10:50 ~ 12:20 (90分)]

下記に記載のページ番号は予稿集
(電子版)の該当ページを示しています。

★印は、今大会のテーマ「日本語教育学の輪郭を描く」に関連した発表です。

第1会場

①…p.232

JSL 児童に対する効果的な授業方法の検討—授業力があるとされる教師による JSL カリキュラムの授業談話分析を通して—

櫻井千穂 (広島大学)
李在鉉 (同)
岡崎涉 (兵庫教育大学)
永田良太 (広島大学)

②…p.238

中学校社会科教科書における抽象語の分析と授業実践の試み
—日本語指導が必要な子どもたちへの学習支援に向けて—

清水友美 (宇都宮大学大学院修了生)
鎌田美千子 (宇都宮大学)

③★…p.244

多文化社会が求める教師の資質・能力—外国人児童生徒等教育の担い手に焦点を当てて—

齋藤ひろみ (東京学芸大学)
和泉元千春 (奈良教育大学)
市瀬智紀 (宮城教育大学)
浜田麻里 (京都教育大学)

④★…p.250

JSL 児童生徒の学びを支える連携の歩み—NPO と国際教室担当教員のつながりの中で生まれた合同研修会—

樋口万喜子 (横浜国立大学)
加藤真帆子 (日本語・教科学習支援ネット)
高瀬円 (横浜市立日枝小学校)
中村淳子 (横浜市立霧ヶ丘義務教育学校)
古屋恵子 (横浜市教育委員会)
細野尚子 (横浜市立本町小学校)
頼田敦子 (横浜市教育委員会)

⑤★…p.256

外国人児童生徒等教育を担う教員の多様性による養成・研修のデザイン

河野俊之 (横浜国立大学)
伊東祐郎 (国際教養大学)
川口直巳 (愛知教育大学)
中川祐治 (福島大学)

第2会場

⑥…p.262

日本語教授法の授業研究—マイクロティーチングによる学部生の学びの考察—

稲葉みどり (愛知教育大学)

⑦…p.264

日本語学習者のための漢字語彙テスト開発—正答率とコーパス上の頻度との相関分析—

岩下智彦 (早稲田大学)
吉田暁 (城西大学)

⑧…p.270

初級日本語教育における媒介語としての英語使用—学習者向けアンケート調査の結果から—

嵐洋子 (杏林大学)
阿部新 (東京外国語大学)
田川恭識 (日本大学)

⑨…p.276

自律的動機づけと自己評価力の関連

山本晃彦 (関西大学)
末吉朋美 (元・関西大学)

⑩★…p.282

日本学の観点から捉える日本語教育学

荒井美咲 (東北大学大学院生)

第3会場

⑪★…p.288

日本語動詞を用いたオンライン学習における学習者の解答傾向
—初級から上級の自他動詞を中心に—

沖本与子 (一橋大学)

第4会場

⑫…p.294

国外日本語教育機関における Can-do statements と CEFR 能力記述文の間の項目困難度比較
—受容技能を例に—

島田めぐみ (日本大学)
大隅敦子 (国際交流基金)
熊谷龍一 (東北大学)
董博 (拓殖大学大学院生)
野口裕之 (名古屋大学名誉教授)

第5会場

⑬

当該発表は、未発表扱いとなりました。

ポスター発表 第2部 [12:40 ~ 14:10 (90分)]

下記に記載のページ番号は予稿集
(電子版)の該当ページを示しています。

★印は、今大会のテーマ「日本語教育学の輪郭を描く」に関連した発表です。

第1会場

⑭★…p.301

生活特化型日本語学習アプリの
開発について—漢字から文章への
縦断的学習—

沈佳琦 (大海語言学院)

⑮★…p.307

地域企業へのキャリア支援を見
据えた地域文化理解教育の取組
み—地域住民とのインタビュー活
動による交流学习を中心に—

大塚薫 (高知大学)
林翠芳 (同)

⑯…p.312

個々のニーズに対応した寺子屋
形式の授業の可能性

山田真弓 (東京都立大学)

⑰…p.318

在住外国人のための「求人票
コーパス」を利用した求職場面
の日本語の考察

亀井信一 (早稲田大学大学院生)
李在鎬 (早稲田大学)

⑱★…p.324

生活者への日本語支援を目的と
した多読の試み—子育て世代を中
心としたボランティア教室—

横山りえこ (フリーランス)

第2会場

⑲…p.330

日本語学習者による程度副詞「と
ても」「すごく」「本当に」の使い
分け—I-JAS コーパス調査による
母語話者との比較を通して—

日暮康晴 (筑波大学大学院生)

⑳…p.336

日本語の名詞修飾はどのように
教えられているのか—教科書にお
ける扱いの比較分析を通して—

徐乃馨 (東京都立大学)

㉑★…p.342

漢字習得適性要素の解明—非漢
字系学習者の漢字字形情報の記憶・
処理能力測定から—

岡本英久 (東京教育文化学院)

㉒…p.348

日本語学習者におけるオノマトペ
の習得段階と学習到達目標

福留奈美 (東京聖栄大学)

㉓…p.352

中国語を母語とする上級日本語
学習者の日本語連続文の記憶に
おける分散効果

常笑 (広島大学大学院生)

第3会場

㉔…p.358

学習者による小喃パフォーマンス
の指導方法の実践

畑佐一味 (パデュュー大学)

第4会場

㉕★…p.361

中国人留学生のキャリア意識の
変化と自律性—キャリア教育との
連携をめざして—

家根橋伸子 (東亜大学)
佐藤正則 (山野美容芸術短期大学)
寅丸真澄 (早稲田大学)
松本明香 (東京立正短期大学)

第5会場

㉖★…p.367

『名大会話コーパス』で話されて
いる話題の計量的分析—話題バ
イグラムを用いて—

中俣尚己 (京都教育大学)
建石始 (神戸女学院大学)
堀内仁 (国際教養大学)
小西円 (東京学芸大学)

ポスター発表 第3部 [14:30 ~ 16:00 (90分)]

下記に記載のページ番号は予稿集
(電子版)の該当ページを示しています。

★印は、今大会のテーマ「日本語教育学の輪郭を描く」に関連した発表です。

第1会場

②⑦…p.374

日本語教師発話の分析—中級レベル授業と初級レベル授業の比較—

立部文崇 (徳山大学)
藤田裕一郎 (朝日大学)

②⑧…p.380

ミャンマー人日本語教師研修—遠隔指導を中心とした実践報告—

佐藤瑞恵 (横浜国立大学)
中野玲子 (ジャパンプロフェッショナル
ヒューマンアカデミー)

②⑨★…p.384

日本語教育学における質的研究の問題をどう読みとるか—大学院生の研究力向上支援の観点からの事例分析—

朴在恩 (一橋大学大学院生)

③⑩★…p.390

一般教員が語る留学生指導とその省察を促す日本語教員の役割についての考察—日本語教員による一般教員へのインタビューから—

松本明香 (東京立正短期大学)

③⑪…p.396

日本語イマージョン教育プログラムにおける日本語母語話者アシスタント教師の役割—アメリカ・ポートランド公立学校の例を基に—

勝成仁 (横浜国立大学大学院生)

第2会場

③⑫★…p.402

日本語教師のスタートラインにおいて日本語学校は何ができるか—初任候補者のための新たな研修の開発に向けて—

門馬真帆 (東京語学学校)
富谷玲子 (神奈川大学)

③⑬…p.408

日本語教師と日本語学習者の授業観察視点の比較—動画アニメーションによる評価から—

青木さやか (フリーランス)

③⑭…p.414

介護現場における申し送りを使った学習指導

増谷祐美 (にほん語でかいご共国会)

③⑮…p.420

日本語教師の学びの場としてのオンラインの可能性と課題—長期間にわたるオンライン読書会の実践—

大隅紀子 (YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち)
眞鍋雅子 (同)

③⑯…p.426

看護実習記録の「アセスメント」における記述の特徴—接続表現に着目して—

山元一晃 (国際医療福祉大学)

第3会場

③⑰★…p.432

「会話パートナー」の実践における日本人学生・留学生の学びの可能性

久保亜希 (東京国際大学)
稲垣みどり (同), 大住あかり (同)
斉藤佑太郎 (同), 柴田冴 (同)
高野真里 (同), 横田賢司 (同)

第4会場

③⑱★…p.438

就労者に対する日本語教育 (SJ)における人材育成の課題—指導者 Can-do Statements の記述と活用を通して—

品田潤子 (ビジネスプロセスコミュニケーション研修サービス)
近藤彩 (麗澤大学),
金孝卿 (早稲田大学)
倉本文子 (カイ日本語スクール)

第5会場

③⑲…p.444

学術論文の構成要素に関する計量的分析—日本語教育学分野の研究論文を対象に—

三谷彩華 (早稲田大学大学院生)
滝島雅子 (同)
李在鎬 (早稲田大学)